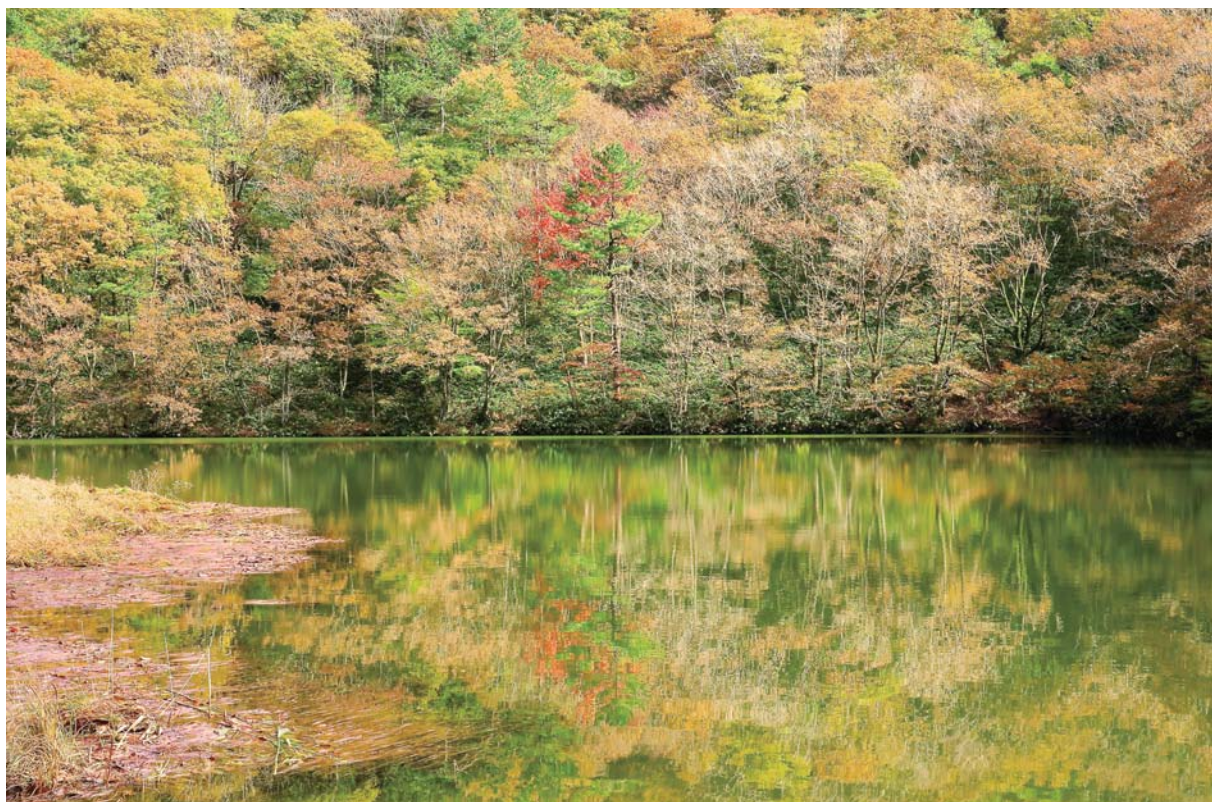


公社だより

2025
No. 157 10

I N D E X

- がん征圧月間…………… 2
- 結核 複十字シール運動 島根県知事表敬訪問… 3
- 健康診断の判定基準値の変更について…………… 4
- 保健指導と呼吸機能検査について…………… 4
- 令和7年度
食品製造者支援セミナーを開催しました…………… 5
- ミネラルウォーター類における
PFASの成分規格の設定について …………… 5
- Information…………… 6



三瓶山室の内池 大田市

毎年 9 月は がん征圧月間 です

胃がん・子宮頸がん・乳がん・大腸がん・肺がんは、何れも我が国における死亡の上位に位置しています。(乳がんは女性におけるがん死亡の上位、子宮頸がんは比較的多く、近年増加傾向にあります)

早期がんの段階で治療を受ければ、9割以上の方が治ると言われています。

がんの早期発見に大切なのは、症状が出たら検査を受けるのではなく、何も症状がないうちに、検診を受けることが重要です。“定期的に、”“続けて、がん検診を受診しましょう。

今年の全国統一がん征圧スローガンは

「健康は 予防と検診の 二刀流」

島根県環境保健公社は公益財団法人日本対がん協会島根県支部として、“がん、に関する予防知識の普及啓発、がん征圧行事などを行っています。

がん検診とは

【がん検診の目的と有効性】

がん検診(一次検診)は、「健康な人」と「少しでもがんの可能性が疑われる人」をふるい分け(スクリーニング)します。その上で必要に応じて精密検査や治療を受け、死亡率や罹患率を低下させることが目的です。

早期のがんでは、その多くが無症状です。自覚症状がないうちにがん検診を受けることによって、がんが進行していない状態で発見することができます。

※ 既に症状がある場合は、検診ではなく医療機関で受診しましょう。

【がん検診の限界】

がん検診で必ずがんを見つけられる訳ではありません。(偽陰性)

そのため、定期的に検診を受け続けることによって、がんを発見できる確率が高まります。

また、検診の結果が陽性であるとされても、精密検査の結果、がんが発見されないこともあります。(偽陽性)

偽陽性となることは、早期発見・早期治療のためにはある程度やむを得ないこともあります。

【要精密検査となった場合】

精密検査には **がんの疑いを除去するためと、がんであることを確かめるという2つの意味**があります。

がん検診(一次検査)の結果、精密検査が必要であるとされたら、必ず受診しましょう。



島根県知事表敬訪問

複十字シール運動の意義及び目的をご理解頂き、島根県としても広く一般に結核や肺がん、COPDを含む胸部疾患に対する知識の啓発をお願いするため、令和7年8月29日(金)に未来



へつなぐいのち島根県連盟様（浅津会長）と共に島根県知事を表敬訪問しました。

結核は今なお国内の主要な感染症の一つです。普及啓発活動が結核・呼吸器感染症予防の第一歩であること、その活動を支えているのが複十字シール運動であることなどをお話ししました。



【複十字シール運動の趣旨】

多くの方々に結核・呼吸器感染症予防への関心を深めていただくとともに、結核検診・検査・研究などに対する資金援助や活動支援を呼びかけているのが複十字シール運動です。この複十字シール運動は、日本だけでなく世界共通の結核・呼吸器感染症予防のための活動で、約80カ国でそれぞれの国の結核予防会が活発に展開しています。

健康診断の判定基準値の変更について

◆旧基準値(主な項目を抜粋)◆

項 目		旧基準値
血圧	収縮期血圧	139以下
	拡張期血圧	89以下
視力		0.7以上
聴力	4000Hz	≦40
貧血	血色素量	男性 13.0～17.5
		女性 12.0～15.9
肝機能	AST (GOT)	40以下
	ALT (GPT)	40以下
	γ-GTP	男性 70以下
		女性 50以下
脂質	LDLコレステロール	60～139
	空腹時中性脂肪	149以下
糖代謝	空腹時血糖	70～99
	HbA1c	6.2以下
尿酸		2.0～7.0
腎	クレアチニン	男性 0.50～1.10
		女性 0.40～0.90

◆新基準値◆

新基準値・範囲
129以下
84以下
1.0以上
≦30
13.1～16.3
12.1～14.5
30以下
30以下
50以下
60～119
30～149
～99
5.5以下
2.1～7.0
1.00以下
0.70以下

令和7年4月1日より、健康診断の判定基準値を変更しました。新基準値は原則、日本人間ドック・予防医療学会等の基準に準ずる内容となっており、疾患発症の早期発見、健康の保持・増進に役立つよう変更させていただきました。

保健指導と呼吸機能検査について

◆保健指導◆

保健指導は、受診される方の健康を守り、病気の予防や早期発見を目的としています。

具体的には、健康診断の結果を基に『運動、食事、睡眠、飲酒、喫煙』などの生活習慣の改善に関するアドバイスを行っています。

ご自身の健康維持・改善のいいきっかけとなると思います。

是非ご利用ください。



◆呼吸機能検査◆

呼吸機能検査とは、息を吸う力や吐く力を測定し、肺や気道に病気がないかを調べます。呼吸機能障害の原因疾患としては閉塞性肺疾患（COPD、気管支喘息など）拘束性肺疾患（間質性肺炎、肺結核後遺症、胸水貯留など）混合性換気障害（肺水腫、気管支拡張症など）があります。



人間ドックでは、新型コロナ対策として、中止していた保健指導を令和6年度から、呼吸機能検査を令和7年度から再開いたしました。



令和7年度 食品製造者支援セミナーを開催しました

令和7年9月19日（金）、「サンラポーむらくも」にて、第10回目となる「食品製造者支援セミナー」を開催しました。

島根県内の食品事業者や行政機関など、約90名の皆様にご参加いただきました。今セミナーでは、賞味期限延長のための包材選択のポイントについての講演と情報提供を行いました。



【講演】「包材選びの基礎知識と賞味期限の設定方法」 講師：株式会社丸信 中垣宏隆氏 稲員香織氏

賞味期限延長のための包材選択のポイントについて、事例をもとに分かりやすく説明いただきました。また、公社からは期限設定に関する検査分析について、情報提供を行いました。

ミネラルウォーター類におけるPFASの成分規格の設定について

令和7年6月30日より、清涼飲料水のうち「ミネラルウォーター類のうち殺菌又は除菌を行うもの」について、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）に係る成分規格が設定（新設）されました。

項目	規格基準
PFOS及びPFOA	50 ng/L以下

PFASとは、

有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼び、1万種類以上の物質があるとされています。PFASの中でも、PFOS及びPFOAは、幅広い用途で使用されてきました。これらの物質は、難分解性、高蓄積性などの性質があるため、国内で規制やリスク管理に関する取り組みが進められています。

Information

人間ドックのご案内

申込方法：事前に下記の連絡先にてご予約ください

実施日：月曜日～金曜日
(受付時間 8:00～8:45)

料 金：日帰り人間ドック
38,000円(税抜)
1泊2日人間ドック
62,000円(税抜)

当センターでは鼻からの胃カメラも実施しています。



公益財団法人島根県環境保健公社 お問い合わせは

内容	窓口	TEL・FAX
● 健康診断について	健診事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-55-4528
● 人間ドックについて	ドック事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-32-8585 フリーダイヤル 0120-81-5211
● 環境・食品検査について	環境事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-55-4525
● 上記以外について	総務課	TEL0570-085-111 FAX0852-24-0122

営業時間 8:30～17:00 (土日・祝日は除く)

おまかせください 住みよい環境 あなたの健康

私ども公社は「予防医学活動を主軸として環境保健事業を推進し、島根県民の健康の増進と福祉の向上に寄与する」の設立趣旨に沿って各種の事業に取り組んでいます

ホームページにて最新の情報を掲載しております。
下記アドレスまでアクセスしてください。
<https://www.kanhokou.or.jp/>

発行
令和7年10月30日
公益財団法人島根県環境保健公社
企画管理部情報管理室
〒690-0012
島根県松江市古志原一丁目4番6号
Tel 0570-085-111